様式３

作成日　平成２２年６月３０日

外部評価軽減要件確認票

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	評価
	日常的な買物は、ほとんど地元の商店やスーパーを利用している。近所のうどん屋へ外食にも行く。 管理者が地域に幅広い人脈を持っており、ホームが地域の一員として認識されていることから地域との連携は深いものとなっている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
	運営推進会議開催に合わせて家族会を開いており、家族の参加が多い。会議には家族とともに利用者も参加する。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
	市が主催する在宅ケア会議に必ず出席しており、市の担当者とも顔馴染みとなっている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	「ほほえみ通信」が、ホームでの利用者の様子を家族に詳細に伝えている。 家族会が定期的に開かれており、様々な取り組みが行われている。次回家族会では、救急救命の講習会が予定されている。 ただ、家族の参加が固定化してきており、欠席家族への呼びかけが課題となっている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

規定通りの運営推進会議が開かれている。
会議の内容が、ホームからの報告を主体として組み立てられている。今後、ホームの課題を討議しあう場として活用することが望まれる。

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目２、３、４については１つ以上、外部評価項目６については２つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項目	確認事項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

（注）要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。